

令和4年度東京支部長挨拶



支部長	北條 博史 (S56 卒)
副支部長	平川 明 (S57 卒)
監事	角田 恭之 (S58 卒)
総務幹事	南川 敦宣 (H15 卒)
会計幹事	堀内 健介 (H16 卒)
庶務幹事	篠田 健司 (H16 卒)
若手交流会幹事	佐々木 純 (H14 卒)

令和4年6月更新

令和4年6月より洛友会東京支部長に就任しました北條博史です。

新型コロナ感染もようやく終息傾向となり、徐々に規制の解除が進んでいるところですが、社会生活はコロナ前に戻るわけではなく、在宅勤務やオンライン会議の普及とともに新たな生活様式(ニューノーマル)が定着しつつあります。

洛友会のような同窓会の集まりは、人と人との交流が中心になるため、今回のコロナ禍においては活動の自粛が相次ぎました。特に若手会員の参画を促すため、若手交流会とともに拡大クラス会の若年層への拡大などの対策を実施しているところでしたので、とても残念な状況になりました。

今年も支部総会は、昨年と同様に、少人数のリアル会場とオンラインのハイブリッド形式で行いましたが、オンライン会議の方が出席しやすいというご意見もあることから、今後、規制が解除された後に、コロナ以前のような集合形式に戻すかどうかについては、今後ニューノーマルにおける活動の在り方や運営方法について継続的に検討していく必要があると思っております。

同窓会の取り組みについては、往々にして自社の仕事に専心している頃はその必要性を感じないこともありますが、仕事の成果を上げ落ち着いてくる頃には、このような人と関われる場があることはとても貴重な機会になるものと思います。

コロナの影響で、人と人とのつながりが疎となる傾向の中、洛友会はニューノーマル時代の Sustainable な存在を目指して、新しい役員、幹事とともにしっかりと務めてまいりますので、会員の皆さまのご支援、ご協力を何卒よろしくお願い致します。